

指定管理者評価シート[自己点検・所管課モニタリング用](令和4年度実績)

施設概要

施設名称	板橋区立熱帯環境植物館	所在地	板橋区高島平8-29-2
所管課名	資源環境部環境政策課	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(第4期)
指定管理者名	西武造園・横浜八景島・西武緑化管理共同企業体	指定管理者の所在地	代表企業:西武造園 東京都豊島区南池袋一丁目16番15号
設置目的	区民に熱帯の植物及び生物の鑑賞の機会を提供し、自然環境保護に関する知識の普及啓発を図るとともに、余暇利用の増進に寄与することを目的とする。		
基本理念	(1)「板橋環境基本計画2025」での取り組みとして来館者数の増加を目指す。 (2)SDGsを推進し、自然の大切さと生物多様性を次世代に伝える。(重点項目) (3)植物・魚類の宝庫である東南アジアの熱帯雨林を再現し、身近な場所で熱帯の植物や生物に触れる・学べる体験を提供する。 (4)地域貢献及び近隣施設との連携		
行動規範	①関係法令やマニュアル等を遵守すること。 ②公平・公正なサービスの提供等に努めること。 ③効率的な運営を行い、管理運営経費の削減に努めること。 ④サービスの向上と利用者数増加の実現に努めること。 ⑤区及び区民、関係団体、官公庁等との連携を図った事業運営を行なうこと。		
業務内容	自然環境保護に関する知識の普及啓発及び実践の推進を図るとともに、余暇利用の増進に寄与することを目的とし、企画展、各種講座・講演会、音楽会、苗木植物配付など各種行事イベントを企画し、実施する。利用者のニーズを反映させ、年間を通して集客効果が望めることを前提とし、以下の事業を実施する。 (1)植物や動物等、自然環境をテーマとする事業 (2)環境に配慮した新たなライフスタイルを提案する事業 (3)SDGsの普及・啓発を目的とする事業 (4)地域協働を目的とする事業 (5)ペナン植物園など東南アジアとの交流や、熱帯地方をテーマとする事業 (6)地域経済の活性化を図る事業 (7)館の特性(館内の景観等)を活用した事業 (8)大人の来館者が増える企画運営等 (9)館及び自然環境に関する情報発信を目的とする広報活動		

評価結果

評価項目	事業の目標と具体的な取組	一次評価(指定管理者による自己点検)								
		実施結果やサービス水準の増減理由など	評価点							
【施設の経営方針に関する事項】										
経営方針に基づく具体的な行動										
	基本理念	具体的な目標	サービス水準	目標値・実績値(経過)					評価目標値 評価点	
				R2	R3	R4	R5	R6		
基本理念の達成に向けて、経営方針に基づく具体的な目標や取組、サービス水準を設定し、業務に取り組んでいるか	(1)	自然について体験・学習できる場の提供	入館者数	目標	40,000	130,000	130,000	130,000	130,000	4 / 5
				実績	35,861	100,581	122,830			
				増減理由	・新型コロナウイルス感染症に対する規制緩和による外出需要の高まりや、対策を講じながらも一年を通じてイベントや各種サービスを提供してきたことで、コロナ以前の賑わいを取り戻すことができたと感じる。目標の13万人に届かなかったものの、歴代2番目の来館者数となり、多くの方に利用いただくことができた。					

【施設の経営方針に関する事項】

経営方針に基づく具体的な行動

	基本理念	具体的な目標	サービス水準	目標値・実績値(経過)					評価目標値 評価点	
				R2	R3	R4	R5	R6		
(2)		SDGsについて学ぶ場を提供	環境にまつわる企画展(小規模企画展講座・イベント含む)回数	目標	13	50	50	50	50	5 / 5
				実績	11	32	52			
				増減理由	・当館に関連するゴール(気候変動、海や陸の豊かさ、エネルギー、再利用等)について学ぶことができるよう、企画展示、小規模展示を通じて、様々なテーマでSDGsについて学ぶ場を提供した。 ・展示以外にも、ガイドや講座の場で、SDGsに関する学びとなるような話を交えながら、参加者に普及啓発を行った。 ・教育機関への出張講座や生徒達が行うSDGsの取り組みを紹介するなど、積極的に連携をとりながらSDGsの普及啓発を行った。					
(3)		楽しみながら学べる体験型施設を目指す	体験型イベント回数	目標	6	20	20	20	20	5 / 5
				実績	6	18	39			
				増減理由	・講習会、フルーツ試食会、水族館のエサやりやガイド等、年間通じて様々なイベントを実施し、多くの方に楽しみながら学ぶことができる当館の魅力を伝えることが出来た。 ・感染症に対する規制緩和を受け、対策を講じながら、ねったいかんフェスティバルや音楽コンサート、タッチイベントなど、規模の大きいイベントを実施し、来館者に喜んで頂けるよう努めた。					
(3)		植物の知識の向上	ガイドツアー参加者数	目標	19	750	750	750	750	1 / 5
				実績	41	-	178			
				増減理由	・お休みしていたガイドツアーも6月より再開した。ガイドボランティアの意見も考慮し、定員(各回5名)を設け、参加者もボランティアも安全にガイドが実施できるよう工夫した。 ・定員を設けた為、参加者数は目標に届かなかったものの、少ない人数でガイドを行う分丁寧にご案内することが出来た。					
(3)		植物の知識の向上	緑化相談件数	目標	300	700	700	700	700	2 / 5
				実績	90	599	422			
				増減理由	・巡回時や企画展開催時、植物販売、ガイドなど、お声掛けを行い、植物について説明を行った。 ・例年、ラン展で多くの質問が寄せられるが、これまでほど多くの質問が集まらなかった。なるべく展示室にスタッフを配備したり、ミニガイドを行ったが、来館者層の変化を感じた。					
(3)		環境への取り組み、地球温暖化に対する意識啓発	緑のカーテン用苗や、当館で育てた苗の配布数	目標	200	500	500	500	500	5 / 5
				実績	220	472	813			
				増減理由	・繁忙期やイベント、SDGs企画を通じて、植物の配布を行い、緑の普及、環境に関する啓発に努めた。 ・苗の他にも、植物のタネの配布(フウセンカズラや収穫したチョウマメ)を行い、タネから育てる喜びや難しさを、多くの方に体験して頂けるよう努めた。					
(4)		地域コミュニティ活性化・他施設との連携した環境教育	連携イベント回数	目標	3	4	4	4	4	5 / 5
				実績	1	5	5			
				増減理由	・感染症に対する規制が緩和されたことで、近年中止となっていた地域イベントが再開され、連携イベントへの参加を積極的に行った。 ・新たに小茂根図書館、高島平図書館との連携事業として、出張講座やパネル展示を行い、他施設と連携した環境教育の提供を行った。					

* サービス水準の採点方法

(5点:達成率100%以上、4点:達成率90%以上100%未満、3点:達成率70%以上90%未満、2点:達成率50%以上70%未満、1点:達成率50%未満)